

グループテーマ:『どんぶりの底を活かす!』

【テーマ1】 町内のほかの施設や資源等とのつながりや役割分担を踏まえた時、中央倉庫群の
再活用として、どのような機能・サービスが望ましいと思いますか？

○倉庫群活用の検討にあたって考慮したいこと

■ニセコには文化的施設が少ない

- ・有島記念館にはない展示（郷土資料館？）
- ・郷土資料館＋カフェ
- ・写真展示のギャラリー
- ・音響照明のあるホール（現在は町民ホールを利用）
- ・音楽用スタジオ
- ・映画館、シアター

■冬に子どもが安全に遊べる場の確保

- ・小さい子どもが室内で遊べる

■イベントができる場が必要

- ・町民が参加できるイベント
- ・商店街も綺羅乃湯も一緒にやるイベントになってきた。

○求められる機能のアイデア

■観光案内する場が必要

- ・ニセコ町内の各所の案内所（看板？）が必要
- ・10分でわかる町案内

■倉庫群にほしい商店

- ・商店とのバッティングはしないように
- ・宿泊施設
- ・アイスクリームショップ
- ・カフェ
- ・飲食店

■冬季限定イベントの開催

- ・綺羅乃湯はシーニックナイトというイベントをしている（雪像、アイスキャンドル）
- ・雪合戦大会

■尻別川に親しむことのできる環境の整備

- ・函館本線（尻別川、羊蹄山の景色を活かしたい）
- ・景色として記念館からの羊蹄山
- ・川、水に親しむ
- ・川を眺められる場所がない

■フットバスの拠点として活用

- ・フットバスの拠点
- ・歩く場所やきれいなポイントを結んで、駅、綺羅乃湯を含む散歩コース
- ・ハイキングコース（JR川沿い～記念館は1時間弱）
- ・子どもの散歩コース（主婦も参加できるような）

■倉庫群周辺道の活用

- ・町内に桜を植えたので、これから成長してきれいに咲く
- ・サイレン坂（途中から景色や夜景のポイントがある。リスもいる。）
- ・桜ヶ丘公園（かたくり）
- ・駅、記念館、道の駅のルートに花を植える
- ・どんぶりの底
- ・幽霊道

■プロスポーツに関する施設の設置

- ・スポーツで先端の人がニセコには多い。なので、その人達を多くの人に知ってもらいたい。
- ・スキーヤー、ボーダー、登山家等のトレーニング施設

■スポーツと他資源の連携

- ・ニセコのイメージはスポーツのイメージ
→スポーツから健康食品、自然食品

■一般用スポーツに関する施設の設置

- ・サイクリングコース（サイクリングにはエコなイメージがある）
- ・バンジージャンプ
- ・スポーツ施設
- ・バランスボールジムは町内にない

■現在のニセコ（人、自然、生活）の状況

- ・ニセコは文化的なものがない
- ・おひさまに行くのにまわりが長い。坂がきつい。
- ・今、JR駅でスケートボードをやっている（倶知安にも場所がある）
- ・スノーボードをやる人は夏にスケートボードをやる

■昔のニセコの状況

- ・昔、小学校の裏の崖はスキーをやっていた

○具体的な施設整備のアイデア

■隣接する温泉施設を活かしたスポーツ施設を整備する

- ・スポーツ施設（スケートボード）で汗を掻いた後に綺羅乃湯でさっぱりしてもらう
- ・スポーツ施設（スケートボード）で運動した後に腹ごしらえをしてもらう

・

【テーマ2】 整備する際の、倉庫建物ごとの機能・サービス・デザインのアイデアやイメージをお聞かせ下さい。

○倉庫群敷地の整備、機能について

- ・倉庫の間に屋根（がんぎ）がほしい
- ・今空いているところを大きな公園に
- ・ライトアップ倉庫群（クリスマスの木があってもいい）
- ・セミの鳴き声がすごい、崖の木・森を残したい

・

以上